※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 216 |
|---|---|

# 令和８年度　グローバル（専）科

| 教科 | グローバル | 科目 | グローバルヒストリー | 単位 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | | | | | | | |
| 副教材等 | 世界史探求　書きこみ教科書詳説世界史（山川出版社）<br>ルーズリーフ参考書　高校世界史（学研プラス） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

グローバル化する国際社会に主体的に参画し、平和で民主的な社会を形成するために必要な資質、能力を育成することを目的として学習を進めます。
・多文化理解・多文化間コミュニケーションのベースとなる世界各地の社会・文化の成り立ちを学びます。
・様々な資料などに触れて、歴史を具体的に理解します。
・単なる知識の習得ではなく、現代世界の課題と歴史的事柄のつながりについて学習します。
・理解を深めるため ICT 機器なども活用します。
・ノートを準備してください。

## 2　学習の到達目標

①世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
②世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
③世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|

※令和４年度以降入学生用

| | | | |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 世界の歴史の諸事象について、地理的条件や現代の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に 付けている。世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり、図表にまとめたりしている。 | 世界の歴史に関わる事象の意味や特色などを多面的・多角的に考察したり、課題を把握、その解決に向けて構想し、その過程や考察・構想を効果的に説明したり、公正に判断したりしている。 | 世界の歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1 | オリエント世界 | 先史の時代<br><br>古代オリエント | a:オリエント文明の特徴を理解している。<br>b:オリエントの諸国家と東アジアの諸国家を比較して考察し，共通点等を自分の言葉で表現している。<br>c:古代オリエント史に興味を持って主体的に学習しようとしている。 | 授業ノート | 授業ノート | ワークシート<br><br>振り返りシート |
| | 地中海世界の文明とキリスト教 | ギリシア文明<br><br>ローマ世界<br><br>キリスト教の誕生 | a:古代ギリシア・ローマ帝国の特徴を理解している。<br>b: 社会，国家，宗教，文化の特徴について考察し，自分の言葉で表現している。<br>c: アテネの直接民主政は，現代の民主政と比べてどのような違いがあるかを主体的に追究しようとしている。 | 定期テスト<br><br>準拠ノート | 定期テスト<br><br>ワークシート<br><br>グループワーク | ワークシート<br><br>振り返りシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | 古代インド | インダス文明<br><br>インド統一国家<br><br>古代インド文明 | a: アーリヤ人の進出と彼らのもつ信仰の特徴について理解している。<br>b: アーリヤ人進出によるインドの社会的影響や変化について，多面的・多角的に考察し，表現している。<br>c: 古代インドで仏教が栄えた理由として最も大きいと考えられるものは何か，主体的に追究しようとしている | 定期テスト<br><br>授業ノート | 定期テスト<br><br>ワークシート | 振り返りシート |
| | 中国の古代文明と東アジア文化圏の形成 | 中国文明の発生<br><br>諸王朝の成立<br>（殷～唐）<br><br>新しい思想の誕生<br><br>隋唐時代の諸制度と国際関係 | a: 中華諸王朝の特徴を理解している。<br>b: 均田制のように、隋・唐の制度と日本の班田収授法について、多面的・多角的に考察している。<br>c: 唐代の東アジアの国際関係を通じて，中国から周辺諸国に伝わったものを挙げ，またそれらがその後の周辺諸国の文化・制度に与えた影響について考え，主体的に追究しようとしている。 | 定期テスト<br><br>授業ノート | ワークシート<br><br>グループワーク<br><br>発表 | 振り返りシート<br><br>ワークシート |
| 2 | イスラーム世界の形成と発展 | イスラーム帝国の成立<br><br>イスラーム世界の発展<br><br>イスラーム文化の発展 | a:イスラーム教の誕生の背景とアラブ帝国からイスラーム帝国への発展の流れやイスラーム諸王朝の特徴を理解している。<br>b: 正統カリフ時代とウマイヤ朝、さらにアッバース朝とを比較し、その違いについて多面的・多角的に考察し，表現している。<br>c: イスラームが短期間で勢力を大きく広げることができたのはなぜか，主体的に追究しようとしている。 | 定期テスト<br><br>授業ノート | 定期考査<br><br>グループワーク<br><br>発表 | 振り返りシート<br><br>ワークシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | ヨーロッパ世界の形成と発展 | 西ヨーロッパ世界の成立<br><br>ローマ＝カトリックとギリシア正教<br><br>西ヨーロッパ中世世界の変容<br><br>各国王権の伸長<br><br>西ヨーロッパ中世文化 | a:ゲルマン人大移動以降～フランク王国の成立にかけての西ヨーロッパについて理解している。<br>a:十字軍以降の西ヨーロッパ世界の変化について理解している。<br>b: フランク王国とローマ教会の関係について多面的･多角的に考察し，表現している。<br>b:十字軍以降の西ヨーロッパ社会の変化について、論理的に考察することができている。<br>c:十字軍以降の都市の発展や王権の伸長という事柄や今後のヨーロッパ世界について主体的に追及しようとしている。 | 定期テスト<br><br>授業ノート | 定期テスト<br><br>ワークシート<br><br>発表 | 振り返りシート<br><br>ワークシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度